

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年9月13日(金) 第166号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

退職者連合・2013政策・制度要求

厚労省に要請

退職者連合は、9月12日午後2時から東京・霞が関の厚労省で「2013政策・制度要求」について要請を行いました。この要請行動には、退職者連合の羽山治美事務局長、菅井義夫事務局次長、林道寛事務局次長、太田敏夫年金専門委員長、川端邦彦医療・福祉専門委員長の5名が参加しました。

厚労省共用第5会議室で行われた要請には厚労省から各局担当官23人が出席。初めに羽山事務局長が、田村憲久厚労大臣宛の要請書を労使関係担当参事官室の十川昌明第一係長に手渡しました(写真右)。続いて退職者連合の政策・制度要求(厚労省関係33項目)に沿って厚労省の担当各局からそれぞれ回答がありました(写真下)。

●回答した関係局: 社会保障担当参事官室、年金局(事業企画課、総務課、年金課)、保険局(医療課、保険課、医療費適正化対策推進室、高齢者医療課、国民健康保険課)、老健局(総務課、介護保険計画課、老人健康課、高齢支援課、振興課)、社会・援護局(保護課)、医政局(指導課在宅医療推進室)



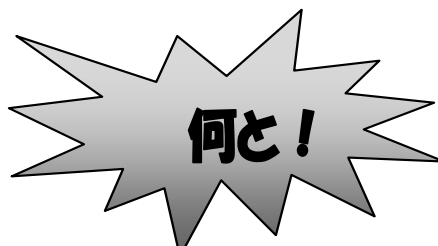
専門委の合同会議開く(9月9日)

介護など重要政策を討議

退職者連合は、9月9日午後、連合会館3階で年金専門委員会と医療・福祉専門委員会の合同会議を開きました(写真左)。主な議題は、「介護保険制度改革に向けた運動展開について」と「社会保障制度改革国民会議報告書のポイントその評価と問題点について」です。退職者連合では、この2点を重要な政策課題と位置付け、この日まとめた内容を9月16日に開く第1回組織代表者会議で中央・地方組織の全体で確認し、要求実現に向けて取り組むことを確認しました。



「母さん助けて詐欺」を撲滅しよう!



被害総額 41 億円

お年寄りを食い物にする「オレオレ詐欺」が大きな社会問題となっていますが、今度は新たな手口の「**母さん助けて詐欺**」が、都内を中心に発生しています。警視庁発表によると今年1月から6月までの半年間で発生件数1,263件。被害総額は41億円にのぼっています。退職者連合の会員が被害にあわないように私たちも「母さん助けて詐欺」撲滅の取り組みに協力することが重要です。

8月29日13時30分から連合本部で、警視庁犯罪抑止対策本部の杉本孝警視長(副本部長)、小池康弘警視、五十嵐吉永警視の3人から特殊詐欺根絶に向けた協力要請を受けました(写真)。



△警視庁の杉本警視長(左から3人目)から要請を受ける羽山治美事務局長(左から2人目)、菅井義夫事務局次長。連合本部からも総合組織局の篠原淳子局長(右から2人目)、金光弘次長が出席。(8月29日、連合本部)

<被害の実態・その1>

“だまし文句”の手口

「**会社の小切手(通帳)が入ったカバンを電車の網棚に忘れた**」(61%)

「**株で失敗して会社の金を使い込んだ**」(13%)

○今日中にお金が必要。

○携帯電話をなくして、電話番号が変わった。

<被害の実態・その2>

だまし文句は **会社関連**が 圧倒的 (75%)

犯人がなりすました職業 **会社員** (71%)

<被害の実態・その3>

以下は、被害にあった高齢者の聞き取り調査結果です。

○詐欺電話は、圧倒的に息子から。娘からはほとんどない。被害者は母親が多い。

○自分が被害にあうとは思ってなかった。96%

「息子の声ぐらい聞き分けられる」と思っている。

でも「**親心スイッチが入ってしまうので、実際はできません**」とは杉本さんのお話です。

だから

「母さん助けて詐欺」免疫力強化

緊急プロジェクト

「母さん助けて詐欺」の撲滅に向けて杉本さんは、次のような作戦をたてています。

「警視庁・東京都と民間企業や労働組合が相互に協力し、高齢者が被害にあわないための免疫力を強化するため、息子世代による働きかけを推進・支援する」。

そこで

会社員を通じた未然防止がキーポイント。警視庁は、退職者連合、経団連・東商・連合に呼びかけ。

○連合東京は、東京都への2013~2014政策・制度要求で「振り込め詐欺」撲滅に向けた対策の徹底を求めています。